

令和6年

火災統計



千葉市消防局

目 次

	ページ
1 火災発生状況	
(1) 火災の前年比較	1
(2) 1日当りの火災状況	2
(3) 火災1件当りの状況	2
(4) 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況	2
(5) 出火率	3
(6) 初期消火の実施状況	3
(7) 主な火災	4
2 出火件数	
(1) 火災種別ごとの状況	5
(2) 四季別の状況	5
(3) 出火件数と気温・湿度	6
(4) 覚知方法別火災状況	6
(5) 区・町・丁目別火災発生状況	7
(6) 月別・日別火災発生状況	8
(7) 曜日別・時間別火災発生状況	9
3 損害額	
(1) 過去10年間の損害額の推移	10
(2) 火災種別ごとの損害額	10
4 火災による死傷者	
(1) 過去10年間の死傷者発生状況	11
(2) 火災種別ごとの死傷者発生状況	11
(3) 過去5年間の町・丁目別死者発生状況	12
(4) 建物用途別及び構造別死者発生状況	12・13
(5) 死亡原因	13
(6) 死亡に至った経過と年齢別の状況	14
(7) 1件で2人以上の死者が発生した火災	14
(8) 死者の発生した火災	15
5 出火原因	
(1) 主な出火原因別の出火件数及び損害額	16
(2) 出火原因ワースト5の状況	16・17

6 火災種別ごと

(1) 建物火災	18~25
ア 発生状況	18
イ 月別発生状況	18
ウ 建物用途別損害状況	19
エ 建物構造別損害状況	19
オ 損害額と焼損床面積の状況	20
カ 出火原因及び発火源・経過	20
キ 出火箇所の状況	21
ク 住宅火災	
(ア) 発生状況	22
(イ) 損害額の状況	22
(ウ) 出火原因及び発火源・経過	23
(エ) 死者発生状況	24
(オ) 負傷者発生状況	25
(2) 林野火災	26
ア 発生状況	26
イ 出火原因及び発火源・経過	26
ウ 出火箇所の状況	26
(3) 車両火災	27・28
ア 発生状況	27
イ 出火原因及び発火源・経過	27
ウ 出火箇所の状況	28
(4) 船舶火災	28
(5) その他の火災	29・30
ア 発生状況	29
イ 出火原因及び発火源・経過	29
ウ 出火箇所の状況	30

7 その他

(1) 署所別火災発生状況	31
(2) 原因別火災発生状況	32
(3) 原因別・時間別及び覚知別火災発生状況	33
(4) 火災の推移状況	34

※ 本編内の割合・比率については、四捨五入による端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

1 火災発生状況

(1) 火災の前年比較

令和6年中における火災は259件で、前年に比べると第1-1表のとおりで3件(1.1%)減少している。

第1-1表 火災の前年比較

▲印……減

区分	単位	令和6年 (A)	令和5年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)	増減率 $\frac{(C)}{(B)} \times 100$ (%)
出火件数	件	259	262	▲ 3	▲ 1.1
建物		155	145	10	6.9
林野		5	2	3	150.0
車両		26	32	▲ 6	▲ 18.8
船舶		0	0	0	--
航空機		0	0	0	--
その他		73	83	▲ 10	▲ 12.0
焼損棟数	棟	191	190	1	0.5
全焼		35	35	0	0.0
半焼		10	4	6	150.0
部分焼		56	56	0	0.0
ぼや		90	95	▲ 5	▲ 5.3
建物焼損床面積	m ²	4,785	3,116	1,669	53.6
建物焼損表面積	m ²	526	546	▲ 20	▲ 3.7
林野焼損面積	a	7	24	▲ 17	▲ 70.8
死者	人	13	8	5	62.5
負傷者	人	60	43	17	39.5
り災世帯	世帯	161	106	55	51.9
全損		33	22	11	50.0
半損		10	10	0	0.0
小損		118	74	44	59.5
り災人員	人	277	228	49	21.5
損害額	千円	481,745	437,350	44,395	10.2
建物		450,181	333,715	116,466	34.9
林野		36	0	36	--
車両		10,642	84,417	▲ 73,775	▲ 87.4
船舶		0	0	0	--
航空機		0	0	0	--
その他		20,286	18,154	2,132	11.7
爆発		600	1,064	▲ 464	▲ 43.6
出火率		2.6	2.7	▲ 0.1	▲ 3.7

※ 損害額の内訳欄（爆発を除く）は物件ごとの損害額である。なお、火災種別ごとの損害額は10頁に掲載している第3-2表のとおりである。

※ 出火率とは人口1万人当りの出火件数である。なお、人口は令和6年4月1日現在の推計人口を使用している。（以下、本火災統計における人口は同様とする。）

(2) 1日当りの火災状況

火災の状況を1日当りでみると第1-2表のとおりで、出火件数は0.7件、損害額は1,320千円であり、建物焼損床面積は13.1㎡となっている。

第1-2表 1日当りの火災状況

区 分	単 位	令和6年	令和5年
出 火 件 数	件	0.7	0.7
損 害 額	千円	1,320	1,198
建 物 焼 損 棟 数	棟	0.5	0.5
建 物 焼 損 床 面 積	㎡	13.1	8.5
建 物 焼 損 表 面 積	㎡	1.4	1.5
林 野 焼 損 面 積	a	0.0	0.1
り 災 世 帯 数	世帯	0.4	0.3
り 災 人 員	人	0.8	0.6
死 者	人	0.04	0.02
負 傷 者	人	0.2	0.1

(3) 火災1件当りの状況

火災1件当りの状況は第1-3表のとおりで、前年と比較すると、損害額、焼損床面積、人的被害、り災世帯、り災人員は増加しているが、焼損棟数は同数となっている。

第1-3表 火災1件当りの状況

区 分	単 位	令和6年	令和5年
1 件 当 り の 損 害 額	千円	1,860	1,669
1 件 当 り の 建 物 焼 損 床 面 積	㎡	18.5	11.9
1 件 当 り の 建 物 焼 損 棟 数	棟	0.7	0.7
1 件 当 り の 人 的 被 害	人	0.3	0.2
1 件 当 り の り 災 世 帯	世帯	0.6	0.4
1 件 当 り の り 災 人 員	人	1.1	0.9

(4) 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況

市民1世帯当り及び市民1人当りに換算した損害額・焼損床面積の状況は第1-4表のとおりで、前年と比較すると損害額、焼損床面積ともに増加している。

※世帯数は令和6年4月1日現在の推計世帯数を使用している。

第1-4表 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況

区 分	単 位	令和6年	令和5年
市 民 1 世 帯 当 り の 損 害 額	円	1,024	946
市 民 1 世 帯 当 り の 焼 損 床 面 積	㎡	0.010	0.007
市 民 1 人 当 り の 損 害 額	円	491	447
市 民 1 人 当 り の 焼 損 床 面 積	㎡	0.005	0.003

(5) 出火率

出火率（人口1万人当りの出火件数）は2.63で、10年前（平成26年）に比べると第1-5表のとおりで16.1%減少している。

第1-5表 出火率等の比較

▲印・・・減

区 分	実 数		増 減 率 (%)
	令和6年	平成26年	
出 火 率	2.6	3.1	▲ 16.1
出 火 件 数	259	300	▲ 13.7
建 物 火 災 件 数	155	167	▲ 7.2
人 口	981,909	963,750	1.9
世 帯 数	470,570	417,822	12.6

(6) 初期消火の実施状況

初期消火の実施状況は第1-6表のとおりで、全火災のうち144件（55.6%）で何らかの方法により初期消火が行われている。また、実施したうちで効果があった割合は、70.8%となっている。

第1-6表 初期消火の実施状況

	簡易消火用具	消火器	消火設備	その他	実施件数合計	未実施件数	全火災件数
実施件数	4 (1.5%)	50 (19.3%)	6 (2.3%)	84 (32.4%)	144 (55.6%)	115 (44.4%)	259 (100.0%)
奏功件数	3 (75.0%)	33 (66.0%)	5 (83.3%)	61 (72.6%)	102 (70.8%)		

注 1 実施件数欄の（ ）内は、全火災件数との割合である。

2 奏功件数欄の（ ）内は、実施件数との割合である。

(7) 主な火災

主な火災は、第1-7表のとおりである。

第1-7表 主な火災

No.	出火日時	出火場所	用 途	焼損棟数	損害額 (千円)	焼損床面積(m ²)
1	2月5日 13時55分 頃	緑区あすみが丘7丁目	住宅	3	34,749	134
2	6月25日 18時55分 頃	花見川区横戸町	工場	2	35,590	86
3	11月10日 1時30分 頃	花見川区長作町	住宅	8	39,143	93
4	11月26日 19時10分 頃	稲毛区六方町	飲食店	1	27,572	117
5	12月19日 5時50分 頃	若葉区大宮台5丁目	住宅	5	52,007	64
6	12月23日 22時25分 頃	花見川区三角町	工場	1	65,682	727

(注) 発生した火災のうち、焼損床面積200m²以上、損害額2,000万円以上のいずれかに該当するもの。

2 出火件数

(1) 火災種別ごとの状況

火災種別ごとの出火件数構成比は第2-1表のとおりで、建物火災が最も多く、155件（59.8%）となっており、以下、その他の火災が73件（28.2%）、車両火災が26件（10.0%）と続いている。

第2-1表 火災種別ごとの状況

区分	令和6年		令和5年	
建物火災	155	(59.8%)	145	(55.3%)
林野火災	5	(1.9%)	2	(0.8%)
車両火災	26	(10.0%)	32	(12.2%)
船舶火災	0	(0.0%)	0	(0.0%)
航空機火災	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他の火災	73	(28.2%)	83	(31.7%)
計	259	(100.0%)	262	(100.0%)

(2) 四季別の状況

出火件数を四季別にみると第2-2表のとおりで、冬が最も多く82件（31.7%）となっており、以下、春が70件（27.0%）で続き、夏が54件（20.8%）、秋が最も少なく53件（20.5%）となっている。

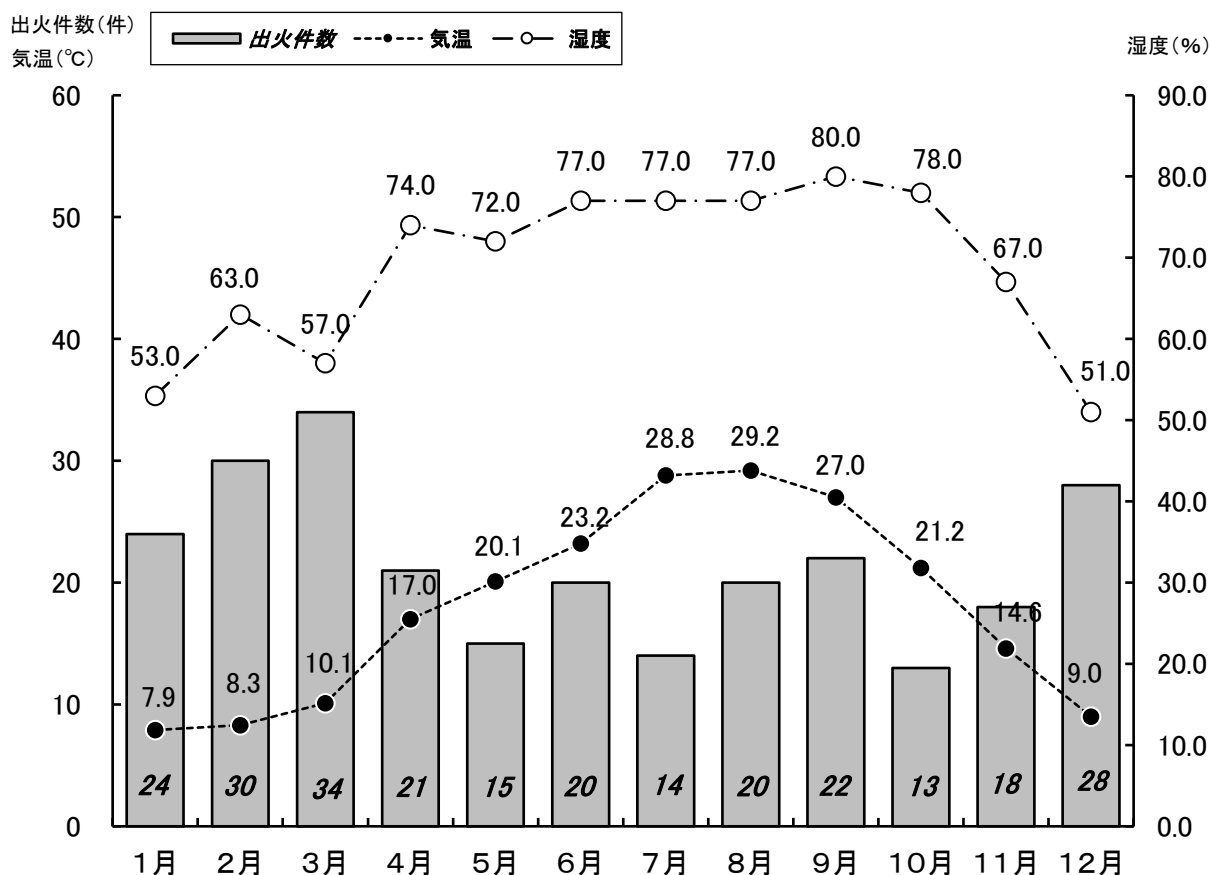
第2-2表 四季別出火件数

年 別 季 別	令和6年				令和5年			
	件数	割合	損害額（千円）	割合	件数	割合	損害額（千円）	割合
春 （3月～5月）	70	27.0	76,740	15.9	74	28.2	90,565	20.7
夏 （6月～8月）	54	20.8	75,201	15.6	61	23.3	153,648	35.1
秋 （9月～11月）	53	20.5	98,051	20.4	40	15.3	56,498	12.9
冬 （1、2、12月）	82	31.7	231,753	48.1	87	33.2	136,639	31.2
計	259	100.0	481,745	100.0	262	100.0	437,350	100.0

(3) 出火件数と気温・湿度

出火件数と気温及び湿度の関連性は第2-1図のとおりで、1月から3月の出火件数が多く、比較的、気温の低い月や湿度の低い月に火災が多く発生している。

第2-1図 出火件数と気温及び湿度の関連性



(4) 覚知方法別火災状況

消防機関がどのような方法により火災を覚知しているかは第2-3表のとおりで、火災報知専用電話(119)による通報が大部分を占め、151件(58.3%)となっている。(事後聞知を除く)

第2-3表 覚知方法別火災状況

覚知方法	出火件数	
	件数	割合(%)
火災報知専用電話(IP電話)	29	11.2
火災報知専用電話(NTT加入電話)	20	7.7
火災報知専用電話(携帯電話)	151	58.3
加入電話(固定電話)	1	0.4
加入電話(携帯電話)	3	1.2
警察電話	17	6.6
駆け付け	0	0.0
事後聞知	36	13.9
その他	2	0.8
計	259	100.0

(5) 区・町・丁目別火災発生状況

区・町・丁目別火災発生件数は第2-4表のとおりで、中央区川崎町が最多で12件(4.6%)となっている。

第2-4表 区・町・丁目別火災発生状況

中央区	青葉町	赤井町	旭町	稲荷町2丁目	稲荷町3丁目	大森町	春日2丁目	要町	川崎町	栄町	塩田町	新宿2丁目	新千葉1丁目	新田町	蘇我町2丁目	大蔵寺町	千葉寺町	中央1丁目	中央3丁目	中央港1丁目	中央港2丁目	椿森1丁目
71	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1	1	1	5	2	1	1	1	1	1	3	1	1
道場北1丁目	道場北2丁目	問屋町	新浜町	登戸5丁目	浜野町	東千葉1丁目	東千葉2丁目	富士見1丁目	富士見2丁目	弁天2丁目	弁天4丁目	松波3丁目	松波4丁目	南町3丁目	都町6丁目	村田町	矢作町	花見川区	天戸町	内山町	宇那谷町	柏井町
1	1	2	4	2	1	2	1	3	3	3	1	1	1	1	1	1	2	48	2	1	1	2
1丁目	検見川町2丁目	検見川町3丁目	検見川町	さつきが丘2丁目	三角町	大日町	武石町1丁目	千種町	長作町	畑町	花園1丁目	花園2丁目	花園町	花見川	幕張町4丁目	幕張町6丁目	幕張本郷2丁目	幕張本郷5丁目	南花園1丁目	横戸町	宮野木台1丁目	長作台1丁目
1	1	2	6	1	1	1	2	1	5	1	2	1	2	6	1	1	2	1	1	1	1	1
稲毛区	穴川2丁目	あやめ台	稲毛3丁目	稲毛東3丁目	柏台	黒砂台2丁目	小仲台3丁目	小仲台4丁目	小仲台6丁目	小中台町	山王町	園生町	轟町2丁目	轟町5丁目	長沼町	長沼原町	萩台町	六方町	若葉区	大宮台5丁目	大宮町	小倉町
25	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	1	2	1	3	1	2	49	1	5	1
貝塚町	加曾利町	上泉町	北谷津町	高根町	多部田町	旦谷町	千城台西3丁目	千城台南1丁目	千城台南2丁目	都賀2丁目	都賀3丁目	富田町	中田町	中野町	野呂町	原町	東寺山町	みつわ台1丁目	みつわ台2丁目	みつわ台3丁目	みつわ台5丁目	若松町
3	4	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	3	2	2	1	2	1	2	1	1	3
若松台1丁目	桜木5丁目	桜木6丁目	緑区	板倉町	大金沢町	大高町	椎名崎町	下大和田町	高田町	土気町	中西町	平川町	平山町	辺田町	誉田町1丁目	誉田町2丁目	小食土町	あすみが丘1丁目	あすみが丘7丁目	あすみが丘3丁目	おゆみ野5丁目	おゆみ野2丁目
1	1	1	34	1	1	1	1	2	1	3	1	2	4	1	2	4	1	1	1	1	2	1
おゆみ野中央6丁目	おゆみ野中央8丁目	おゆみ野中央5丁目	美浜区	磯辺1丁目	磯辺4丁目	磯辺8丁目	打瀬2丁目	打瀬3丁目	幸町1丁目	幸町2丁目	新港	高洲1丁目	高浜1丁目	高浜3丁目	豊砂	中瀬1丁目	浜田2丁目	ひび野1丁目	真砂1丁目	真砂2丁目	真砂3丁目	真砂4丁目
1	1	1	32	1	1	2	1	1	2	2	5	1	3	1	1	1	2	1	1	2	1	1
若葉3丁目																						総計
2																						259

(6) 月別・日別火災発生状況

月別・日別火災発生件数は、第2-5表のとおりである。

月別でみると3月が最多で34件（13.1%）で、次いで2月が30件（11.6%）となっている。

また、日別でみると10日が最多で、18件（6.9%）となっており、上旬（1日～10日）に89件、中旬（11日～20日）に95件、下旬（21日～31日）に74件発生している。

第2-5表 月別・日別火災発生状況

計 日	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	259	24	30	34	21	15	20	14	20	22	13	19	27
1	7	2		1			1					2	1
2	10	1	3	1	1	2				2			
3	6		1		3		1		1				
4	9	1	3	2				1	1		1		
5	7	1	1		1	1				2	1		
6	7	1	1	2			1					1	1
7	5		1					1	1	1		1	
8	10			3			2		3				2
9	10	1	1	2			1	2	1	1	1		
10	18	1	2	3	1		2	3		3		1	2
11	9		4	1		1				2	1		
12	7	2		1	1		1					1	1
13	11	1	1	1	1	1			2	2	1		1
14	8	1	1		1				2	1			2
15	16	2	1	3	3	2	1		1	2	1		
16	7	2	2	1	1	1							
17	8			3		1		1				1	2
18	7	1	1	1	1		1			1			1
19	13			2		2	1	1		2	1	3	1
20	9	1		1	2	1	1	1		1		1	
21	8		1		1		2		1			1	2
22	3		1				1					1	
23	6			1	1	1	1		1				1
24	4			1					1	1	1		
25	10	1	1		1	1	2		1			1	2
26	5	1	1						1			1	1
27	8	1		1		1			1	1		2	1
28	9		1	2	1		1				1		3
29	8	2	2		1			1	1				1
30	6	1						1			1	1	2
31	7			1				2	1		1		2
不明	1										1		

(7) 曜日別・時間別火災発生状況

曜日別・時間別火災発生状況は第2-6表のとおりで、曜日別でみると水曜日が最多で40件（15.4%）、時間別でみると14時が最多で21件（8.1%）となっている。

第2-6表 曜日別・時間別火災発生状況

時間	曜日								
	計	日	月	火	水	木	金	土	不明
	259	39	32	36	40	35	38	38	1
0 ~	7	0	1	1	2	2	1	0	0
1 ~	7	2	1	0	2	0	0	2	0
2 ~	3	0	0	0	2	0	1	0	0
3 ~	9	1	0	1	2	1	3	1	0
4 ~	4	1	0	1	1	1	0	0	0
5 ~	5	0	1	2	0	1	1	0	0
6 ~	7	1	1	1	2	0	0	2	0
7 ~	6	1	0	0	3	2	0	0	0
8 ~	9	1	2	1	3	1	0	1	0
9 ~	12	0	2	1	1	2	3	3	0
10 ~	14	3	1	2	3	3	0	2	0
11 ~	15	3	2	2	0	1	3	4	0
12 ~	12	3	0	3	1	0	5	0	0
13 ~	18	2	2	4	3	4	1	2	0
14 ~	21	6	3	2	2	3	4	1	0
15 ~	18	4	5	3	1	0	2	3	0
16 ~	15	0	1	2	3	1	3	5	0
17 ~	12	3	1	0	1	4	3	0	0
18 ~	12	1	1	2	1	1	4	2	0
19 ~	10	1	1	1	2	1	1	3	0
20 ~	7	1	1	2	0	0	2	1	0
21 ~	11	1	1	2	1	4	0	2	0
22 ~	8	3	1	1	1	2	0	0	0
23 ~	12	1	2	2	3	1	1	2	0
不明	5	0	2	0	0	0	0	2	1

3 損害額

(1) 過去10年間の損害額の推移

損害額は、前年に比べると44,395千円増加しており、過去10年間の火災による損害額の推移は第3-1表のとおりで、平均は364,844千円である。

第3-1表 過去10年間の火災による損害額の推移

年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
出火件数	279	265	263	261	258
同上指数	100	95	94	94	92
損害額(千円)	349,203	225,781	339,945	363,240	363,247
同上指数	100	65	97	104	104
1件当りの損害額(千円)	1,252	852	1,293	1,392	1,408
同上指数	100	68	103	111	112
年別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出火件数	204	225	250	262	259
同上指数	73	81	90	94	93
損害額(千円)	282,114	376,634	429,179	437,350	481,745
同上指数	81	108	123	125	138
1件当りの損害額(千円)	1,383	1,674	1,717	1,669	1,860
同上指数	110	134	137	133	149

※ 各指数は、平成27年の数値を100とした場合の比較値である。

(2) 火災種別ごとの損害額

損害額を火災種別ごとに見ると第3-2表のとおりで、建物火災による損害額が93.7%と大部分を占めており、1件当りの損害額は2,911千円である。

第3-2表 火災種別々損害額

火災種別	損害額(千円)	割合(%)	1件当りの損害額(千円)
建物火災	451,218	93.7	2,911
林野火災	36	0.01	7
車両火災	9,647	2.0	371
船舶火災	0	0.0	--
航空機火災	0	0.0	--
その他の火災	20,844	4.3	286
計	481,745	100.0	1,860

4 火災による死傷者

(1) 過去10年間の死傷者発生状況

火災による死者は13人で前年と比較して5人増加しており、負傷者は60人で17人増加している。
死傷者の過去10年間の推移をみると第4-1表のとおりで、火災件数と死傷者数に相関関係は特に認められない。

第4-1表 過去10年間の死傷者発生状況

区分	年別									
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出火件数	279	265	263	261	258	204	225	250	262	259
死者	8	7	11	2	9	7	6	7	8	13
指数	100	88	138	25	113	88	75	88	100	163
負傷者	44	39	33	48	20	30	36	45	43	60
指数	100	89	75	109	45	68	82	102	98	136

※ 各指数は、平成27年の数値を100とした場合の比較値である。

(2) 火災種別ごとの死傷者発生状況

火災種別ごとの死傷者発生状況は第4-2表のとおりで、死者は建物火災、その他の火災で発生している。

第4-2表 火災種別ごとの死傷者発生状況

区 分	出火件数	死者(人)	割合(%)	負傷者(人)	割合(%)
建物火災	155	12	92.3	57	95.0
林野火災	5	0	0.0	0	0.0
車両火災	26	0	0.0	2	3.3
船舶火災	0	0	0.0	0	0.0
航空機火災	0	0	0.0	0	0.0
その他の火災	73	1	7.7	1	1.7
計	259	13	100.0	60	100.0

(3) 過去5年間の町・丁目別死者発生状況

過去5年間の町・丁目別死者発生状況は第4-3表のとおりで、中央区が最も多く11人（26.8%）次いで花見川区、若葉区、緑区が7人（17.0%）となっている。

第4-3表 過去5年間の町・丁目別死者発生状況

年別	町・丁目	中央区											花見川区				稲毛区				若葉区				緑区				美浜区											
		計	要田町	塩田町	東千葉一	松波四	矢作町	祐光一	祐光三	稲荷町	都町	生実町	南生実町	千種町	長作町	朝日ヶ丘三	花見川二	幕張本郷二	穴川二	小深町	作草部	作草部	長沼一	小倉台二	千城台三	北宮台	大宮台六	みつわ台三	東寺山町	若松町	おゆみ野一	おゆみ野五	大椎町	誉田二	あすみが丘三	あすみが丘七	刈田子町	高洲二	幸町	新港
計	41	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
令和2年	7	1					1	1																1												1	1			
3年	6					1				1										1			1										1							
4年	7				1						1				1			1	1			1																		
5年	8		1							1				1	1								1		1				1		1									
6年	13			1	1								2		1		1					1						1		1		1		1				1	1	

(4) 建物用途別及び構造別死者発生状況

建物用途別死者発生状況は第4-4表のとおりで、死者が発生しているのは専用住宅及び共同住宅である。
建物構造別死者発生状況は第4-5表のとおりで、木造建物で8人死者が発生している。

第4-4表 建物用途別死者発生状況

区分	計	専用住宅	共同住宅	併用住宅					併用共同住宅				病院	店舗	物置	事務所	作業所	倉庫	その他
				店舗	浴場	映画館	事務所	作業所	住居	店舗	事務所	作業所							
地階																			
地上 1	7	4	3																
2	2	1	1																
3																			
4	1		1																
5階以上																			
階数不明	2	2																	
計	12	7	5																

第4-5表 建物構造別死者発生状況

区 分	計	建 物 火 災					その他 屋 内
		木 造	防 火	準 耐 火		耐 火	
				木 造	非木造		
地階							
地上1階	7	5				2	
2	2	1			1		
3							
4	1					1	
5階以上							
階数不明	2	2					
計	12	8			1	3	

(5) 死亡原因

過去10年間の死亡原因を見ると第4-6表のとおりで、一酸化炭素中毒・窒息が34人で最も多く、43.6%を占めている。

第4-6表 死亡原因

区分 年別	計	一酸化炭素 中毒・窒息	火 傷	打 撲 ・ 骨 折 等	自 殺	そ の 他	不 明
27年	8	4	3		1		
28年	7	5	1				1
29年	11	3			5		3
30年	2		1		1		
令和元年	9	5	1		2		1
2年	7	2	3		2		
3年	6	3	3				
4年	7	4	3				
5年	8	2	2	1	2		1
6年	13	6	1	1	1		4
計	78	34	18	2	14		10

(8) 死者の発生した火災

火災による死者は13人で、前年と比較すると5人増加しており、高齢者（65歳以上）の死者は9人発生している。

なお、死者の発生した火災は第4-9表のとおりである。

第4-9表 死者の発生した火災

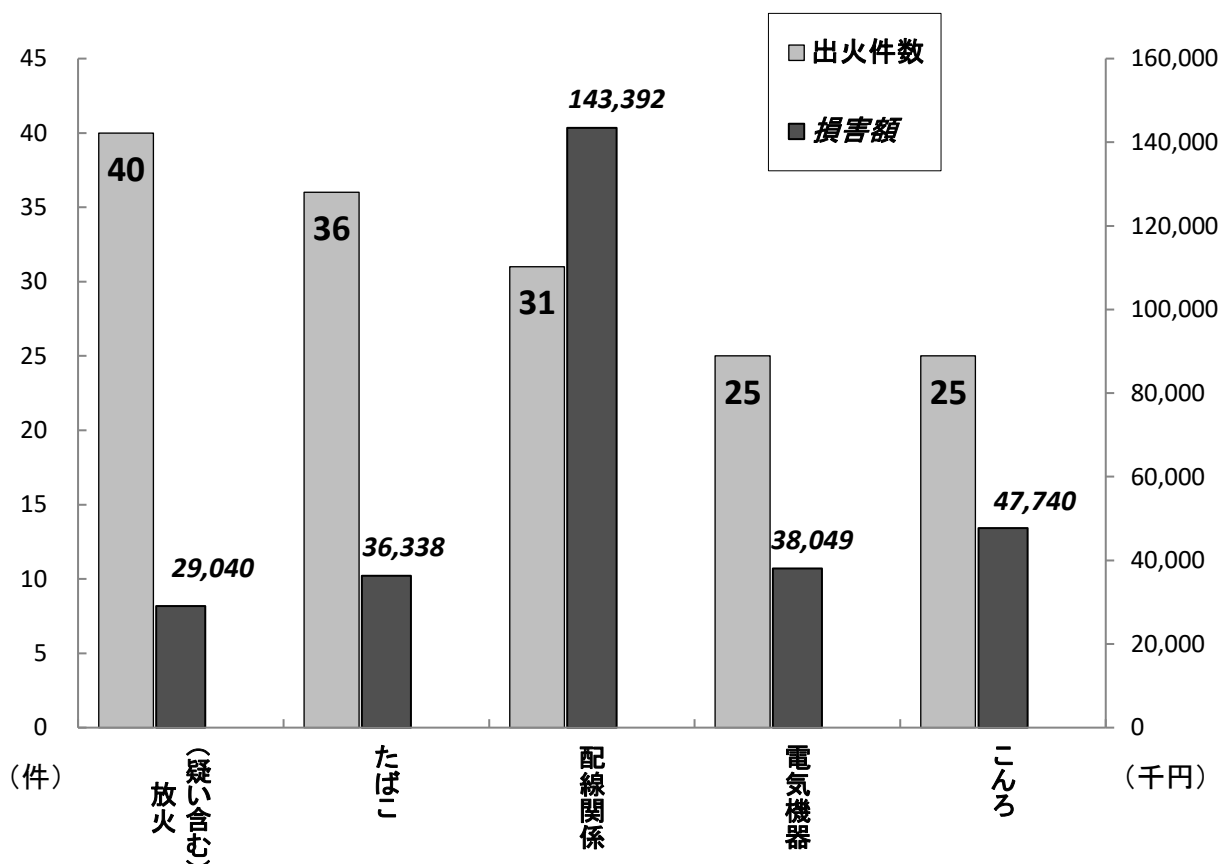
No.	出火場所	種別	用途	性別
1	中央区	建物	専用住宅	男性
2	稲毛区	建物	共同住宅	男性
3	緑区	建物	専用住宅	女性
4	緑区	建物	共同住宅	男性
5	花見川区	建物	共同住宅	男性
6	美浜区	その他		男性
7	稲毛区	建物	専用住宅	男性
8	花見川区	建物	専用住宅	男性
9	花見川区	建物	専用住宅	女性
10	緑区	建物	専用住宅	男性
11	若葉区	建物	専用住宅	男性
12	美浜区	建物	共同住宅	男性
13	中央区	建物	共同住宅	男性

5 出火原因

(1) 主な出火原因別の出火件数及び損害額

主な出火原因別の件数及び損害額の状況は第5-1図のとおりで、出火件数は放火（疑い含む）が最も多く40件（15.4%）となっており、損害額は配線関係が最も多く、143,392千円（29.8%）となっている。

第5-1図 出火原因別出火件数及び損害額



(2) 出火原因ワースト5の状況

ア 放火（疑い含む）の発火源別出火件数

放火（疑い含む）の出火件数は40件であり、発火源は「不明」が29件（72.5%）、次いで「ライター」が4件となっている。

イ たばこの経過別出火件数

たばこの出火件数は36件であり、経過は「不適當なところに捨て置く」が23件（63.9%）、次いで「火源が転倒落下する」及び「火源が動いて接触する」がそれぞれ5件となっている。

ウ 配線関係の経過別出火件数

配線関係の出火件数31件であり、経過は「漏電（地絡）する」が7件（22.6%）、次いで「金属の接触部が過熱する」及び「電線が短絡する」がそれぞれ6件となっている。

エ 電気機器の経過別出火件数

電気機器の出火件数は25件であり、経過は「電線が短絡する」が10件（40.0%）、次いで「スパークする」及び「引火する」がそれぞれ2件となっている。

オ こんろの経過別出火件数

こんろの出火件数は25件であり、経過は「放置する、忘れる」が9件（36.0%）、次いで「可燃物が動いて火源に触れる」が6件となっている。

第5-1表 出火原因ワースト5の状況

区 分	単位	放火（放火の疑い）	たばこ	配線関係	電気機器	こんろ
件 数	件	40 （ 24 ）	36	31	25	25
建 物	件	20	17	25	15	25
林 野		1	2			
車 両		1	4	1	3	
船 舶						
航 空 機						
そ の 他		18	13	5	7	
主な発火源 及び経過	件	不明 29 （ 22 ）	不適當なところに捨て置く 23	漏電（地絡）する 7	電線が短絡する 10	放置する 忘れる 9
		ライター 4 （ 0 ）	・火源が転倒落下する ・火源が動いて接触する 5	・金属の接触部が過熱する ・電線が短絡する 6	・スパークする ・引火する 2	可燃物が動いて 火源に触れる 6
		その他 7 （ 2 ）	その他 3	その他 12	その他 11	その他 10
建 物 焼 損 床 面 積	㎡	343	188	1,269	395	350
建 物 焼 損 表 面 積		304	11	58	30	5
林 野 焼 損 面 積	a	5				
損 害 額	千円	29,040	36,338	143,392	38,049	47,740

6 火災種別ごと

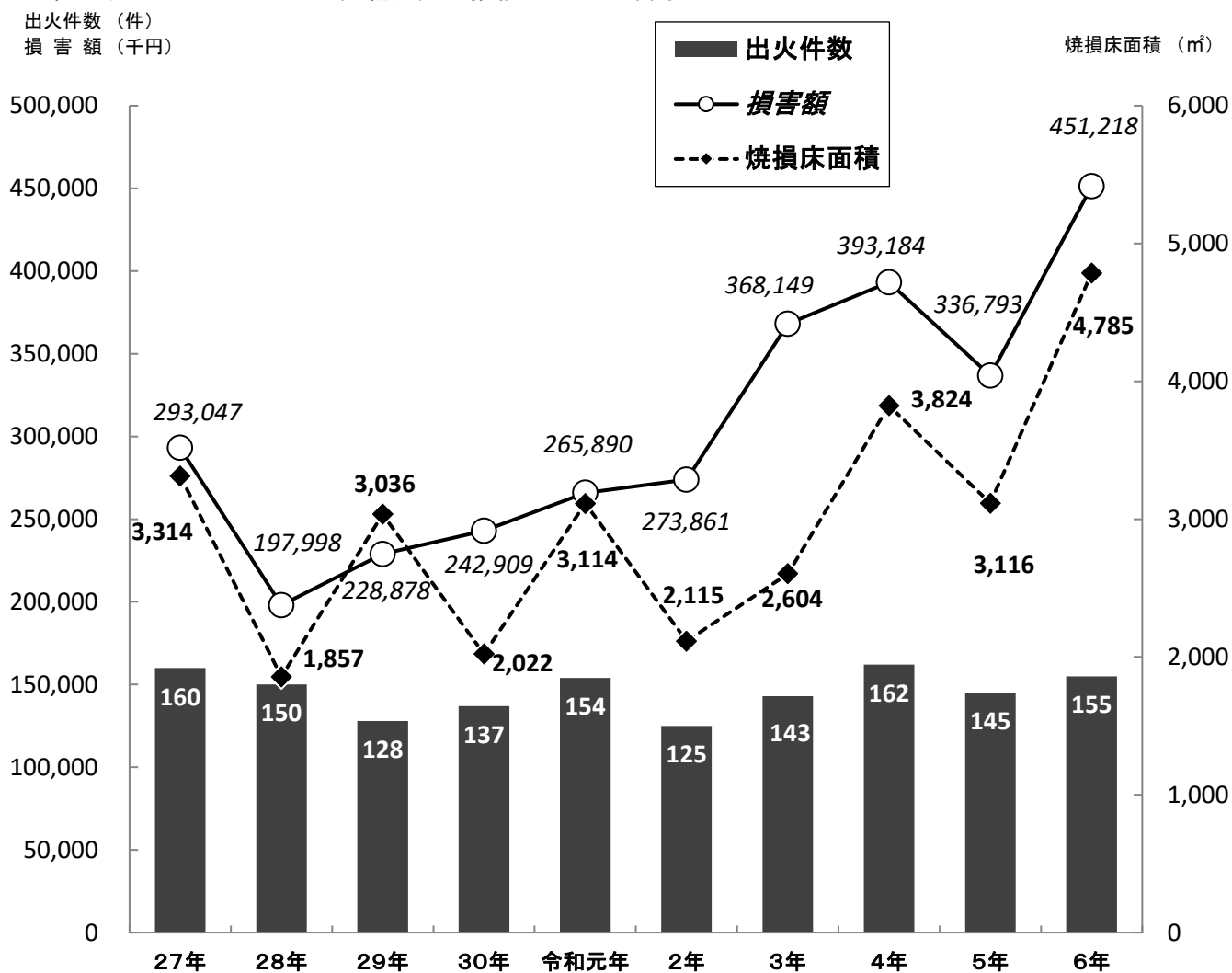
(1) 建物火災

ア 発生状況

建物火災は155件で前年に比べると10件増加しており、損害額は451,218千円で114,425千円増加している。過去10年間の推移は第6-1図のとおりで、平均は出火件数146件、焼損床面積2,979㎡、損害額305,593千円である。

※建物火災により類焼した損害（林野、車両、その他）を含む。林野火災、車両火災、その他の火災による類焼の建物損害を除く。

第6-1図 建物火災の推移（過去10年間）



イ 月別発生状況

月別発生状況は第6-1表のとおりで、12月が18件と最も多く、次いで2月が17件、3月が15件となっている。また、年間の月平均出火件数は約13件である。

第6-1表 月別の建物火災発生状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	13	17	15	14	10	13	9	14	13	7	12	18	155
%	8.4	11.0	9.7	9.0	6.5	8.4	5.8	9.0	8.4	4.5	7.7	11.6	100.0

ウ 建物用途別損害状況

建物用途別損害状況は第6-2表のとおりで、専用住宅・共同住宅が90件で、全体の58.1%を占めている。

第6-2表 建物用途別損害状況

用途	出火件数		焼損床面積	焼損表面積	損害額
	令和5年	令和6年	令和6年 (㎡)	令和6年 (㎡)	令和6年 (千円)
専用住宅	38	36	1,577	52	216,726
共同住宅	39	54	662	42	64,112
遊技場		2	2		161
飲食店・物品販売店舗	2	7	156	1	38,150
旅館		1			1
病院（診療所）・福祉施設等	2	1	2		84
学校	2	2	2		316
公衆浴場	1				
作業所・工場	21	19	965	131	124,449
倉庫・物置・納屋	4	4	53	26	1,400
事務所	3	4	42		1,065
特定複合用途	25	20	181	12	1,718
非特定複合用途	8	3	11	10	2,869
その他		2			167
合計	145	155	3,653	274	451,218

エ 建物構造別損害状況

建物構造別損害状況は第6-3表のとおりで、木造建物からの出火件数が44件であり、建物火災全体の28.4%を占めている。

第6-3表 建物構造別損害状況

構造	損害状況	令和5年	令和6年						
		出火件数	出火件数	延焼件数	延焼率 (%)	焼損棟数	1件当り焼損面積 (㎡)		1件当りの損害額 (千円)
							床面積	表面積	
木造		57	44	9	20.5	71	51.5	4.4	5,574
防火構造		5	3	0	0.0	3	21.0	5.0	856
準耐（木造）		1	5	0	0.0	5	4.4	1.2	1,926
準耐（非木造）		18	24	3	12.5	28	50.7	11.1	2,805
耐火		52	73	0	0.0	73	5.8	0.4	828
その他		12	6	1	16.7	8	123.5	0.2	10,969
計		145	155	13	8.4	188	30.5	3.3	2,910

オ 損害額と焼損床面積の状況

建物火災の出火件数を損害額及び焼損床面積で見ると、第6-4表のとおりである。
 損害額は、50千円未満の火災が82件で、全体の52.9%を占めている。また、焼損床面積の計上されない火災が88件で、全体の56.8%を占めている。

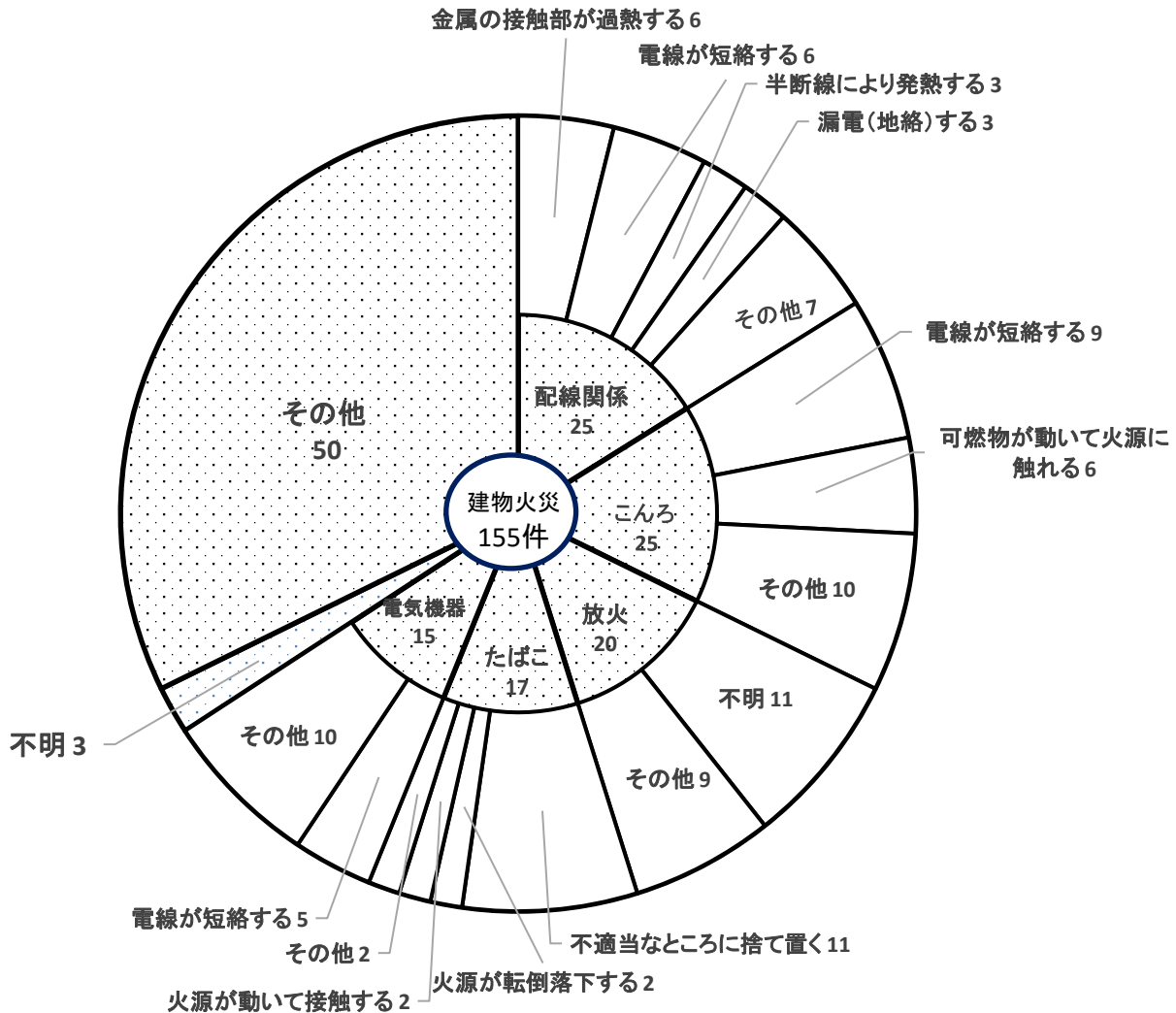
第6-4表 損害額と焼損床面積の状況

損害額	件数(割合%)	焼損床面積	件数(割合%)
0	26 (16.8)	0	88 (56.8)
50千円未満	56 (36.1)	20㎡未満	28 (18.1)
100千円未満	12 (7.7)	40㎡未満	8 (5.2)
500千円未満	13 (8.4)	60㎡未満	6 (3.9)
1,000千円未満	6 (3.9)	80㎡未満	5 (3.2)
2,000千円未満	6 (3.9)	100㎡未満	4 (2.6)
3,000千円未満	8 (5.2)	150㎡未満	7 (4.5)
4,000千円未満	4 (2.6)	200㎡未満	5 (3.2)
5,000千円未満	2 (1.3)	250㎡未満	2 (1.3)
5,000千円以上	22 (14.2)	250㎡以上	2 (1.3)
計	155 (100.0)	計	155 (100.0)

カ 出火原因及び発火源・経過

建物火災の出火原因及び主な経過・発火源は第6-2図のとおりで、配線関係及びこんろがそれぞれ25件で全体の16.1%を占めている。次いで放火(疑い含む)が20件(12.9%)、たばこが17件(11.0%)、電気機器が15件(9.7%)になっている。

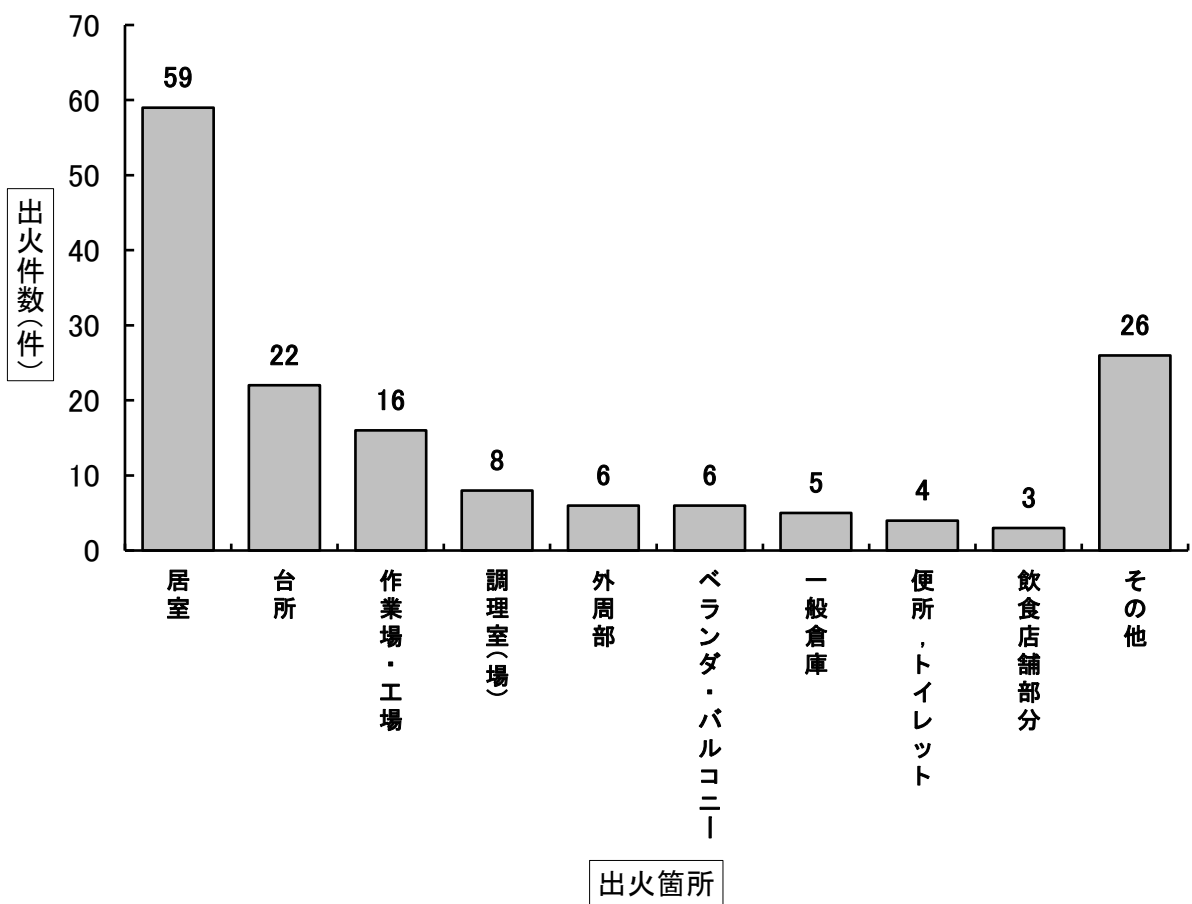
第6-2図 建物火災の出火原因及び発火源・経過



キ 出火箇所の状況

建物火災の出火箇所は第6-3図のとおりで、居室が最も多く59件（38.1%）、次いで台所が22件（14.2%）、作業場・工場が16件（10.3%）となっている。

第6-3図 建物火災の出火箇所の状況



ク 住宅火災

(7) 発生状況

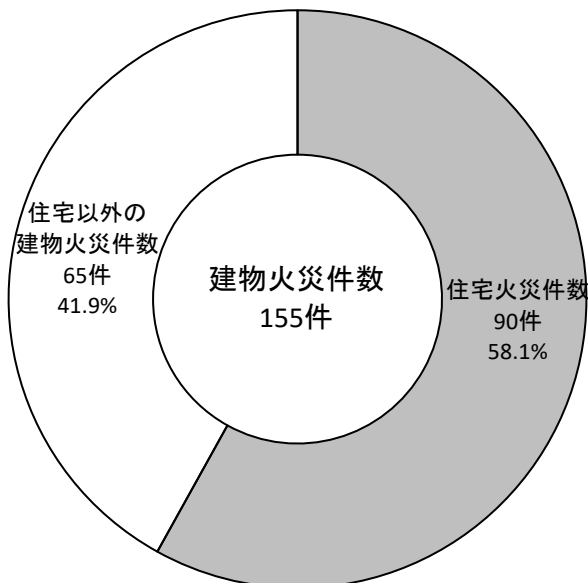
建物火災のうち、住宅火災（専用住宅・共同住宅・併用住宅の火災を指す。以下同様。）の発生件数は第6-5表のとおりで、過去3年間の平均は84件（専用住宅33.7件、共同住宅47.3件、併用住宅3.0件）である。また、住宅火災は第6-4図のとおり建物火災全体の58.1%を占めている。

第6-5表 住宅火災の発生状況

年	件数	建物火災件数 (件)	住宅火災件数 (件)		
			専用住宅	共同住宅	併用住宅
令和4年	162	85 (52.5%)	31 (36.5%)	52 (61.2%)	2 (2.4%)
令和5年	145	77 (53.1%)	38 (49.4%)	39 (50.6%)	0 (0.0%)
令和6年	155	90 (58.1%)	32 (35.6%)	51 (56.7%)	7 (7.8%)

注 1 住宅火災件数欄の（ ）内は、建物火災件数との割合である。
2 専用住宅欄・共同住宅欄・併用住宅欄の（ ）内は、住宅火災件数との割合である。

第6-4図 住宅火災の発生状況



(4) 損害額の状況

住宅火災の損害額は第6-6表のとおりで、建物火災損害額の61.8%を占めている。過去3年間の平均は236,895千円（専用住宅160,598千円、共同住宅74,958千円、併用住宅1,339千円）である。

第6-6表 住宅火災の損害額状況

年	件数	建物火災損害額 (千円)	住宅火災損害額 (千円)		
			専用住宅	共同住宅	併用住宅
令和4年	393,184	253,710 (64.5%)	164,434 (64.8%)	86,271 (34.0%)	3,005 (1.2%)
令和5年	336,793	178,277 (52.9%)	103,777 (58.2%)	74,500 (41.8%)	0 (0.0%)
令和6年	451,218	278,698 (61.8%)	213,584 (76.6%)	64,103 (23.0%)	1,011 (0.4%)

注 1 住宅火災損害額欄の（ ）内は、建物火災損害額との割合である。
2 専用住宅欄・共同住宅欄・併用住宅欄の（ ）内は、住宅火災損害額との割合である。

(ウ) 出火原因及び発火源・経過

住宅火災の出火原因と主な発火源・経過は第6-7表のとおりで、出火原因はこんろが最も多く17件で、住宅火災全体の18.9%を占めている。

第6-7表 住宅火災の出火原因及び発火源・経過

原因	経 過	令和4年	令和5年	令和6年
こんろ	放置する、忘れる	7	2	3
	可燃物が動いて火源に触れる	4	3	5
	過熱する		2	4
	可燃物が火源の上に転倒落下する	1		
	考え違いにより使用を誤る	2		
	本来の用途以外の不適の用に用いる	1	2	
	その他	4	5	5
	計	19	14	17
たばこ	不適當なところに捨て置く	6	9	8
	火源が転倒落下する	4	5	2
	火源が動いて接触する	2	2	2
	容器から火種がこぼれる			
	残り火の処置が不十分			
	その他	2	1	1
	計	14	17	13
ストーブ	可燃物が動いて火源に触れる	4	4	3
	高温物が触れる	1		
	可燃物が火源の上に転倒落下する			1
	考え違いにより使用を誤る		1	
	その他		1	1
	計	5	6	5
配線関係	絶縁劣化による発熱		1	1
	半断線により発熱			2
	金属の接触部が過熱する	3		1
	電線が短絡する	5	5	5
	スパークする	1	1	1
	その他		2	4
	計	9	9	14
そ の 他		34	23	29
放火 (疑い含む)		4	8	12
合 計		85	77	90

(I) 死者発生状況

火災による死者のうち、住宅火災による死者数は第6-5図のとおりで、死者全体の92.3%を占めている。

第6-5図 住宅火災の死者発生状況



a 年齢別死者発生状況

年齢別による死者は第6-8表のとおりで、高齢者（65歳以上）の死者が9人（75%）である。

第6-8表 住宅火災の年齢別死者発生状況

	0歳～5歳	6歳～10歳	11歳～20歳	21歳～64歳	65歳～	不明	計	全死者数
令和4年				3	4		7	7
令和5年				4	4		8	8
令和6年				3	9		12	12

b 死亡に至った経過状況

死亡に至った経過状況は第6-9表のとおりである。

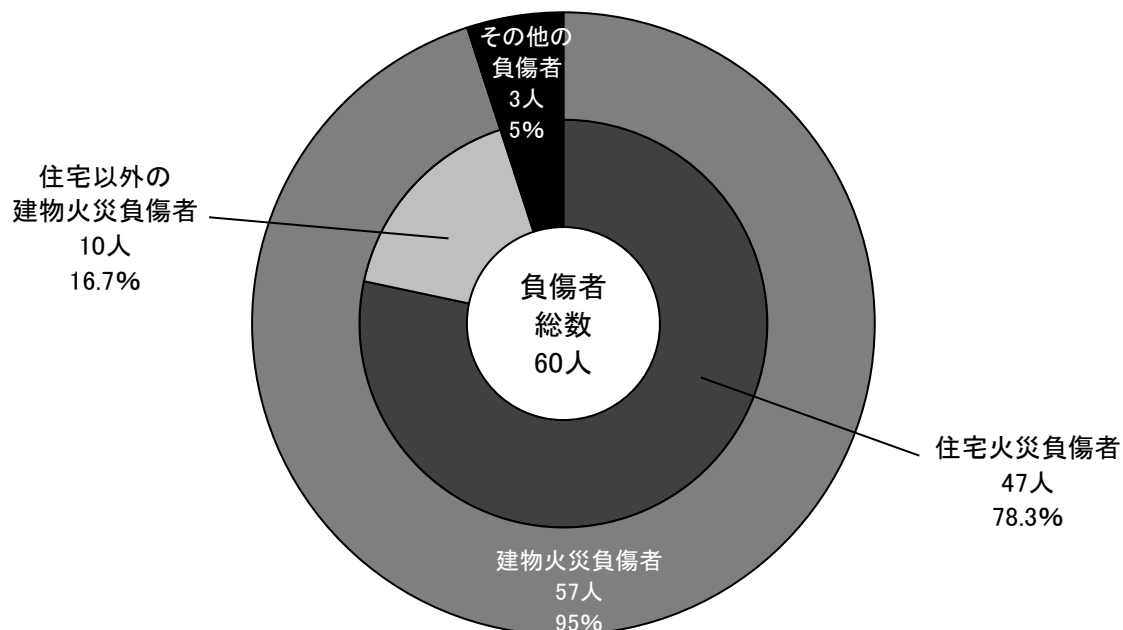
第6-9表 住宅火災の死者発生経過状況

	熟睡	泥酔	逃げ遅れ	身体不自由	着衣着火	放火	その他	計	全死者数
令和4年			1	1	1		4	7	7
令和5年	1	1	1	2		2	1	8	8
令和6年			6	1		1	4	12	12

(オ) 負傷者発生状況

火災による負傷者のうち、住宅火災による負傷者は第6-6図のとおりで、負傷者全体の78.3%を占めている。

第6-6図 住宅火災の負傷者発生状況



a 年齢別負傷者発生状況

年齢別による負傷者は第6-10表のとおりで、高齢者（65歳以上）が16人（34.0%）である。

第6-10表 住宅火災の年齢別負傷者発生状況

	0歳～5歳	6歳～10歳	11歳～20歳	21歳～64歳	65歳～	計	全負傷者数
令和4年	1	1		15	12	29	45
令和5年	1		1	14	9	25	43
令和6年		1	4	26	16	47	60

b 負傷に至った経過状況

負傷に至った経過状況は第6-11表のとおりで、「煙を吸う」が最も多く29人（61.7%）となっている。

第6-11表 住宅火災の負傷に至った経過状況

	令和4年	令和5年	令和6年
火災にあおられる	13	5	9
煙を吸う	9	18	29
放射熱	3	1	1
飛散物			4
転落負傷			1
その他	4	1	3
計	29	25	47
全負傷者数	45	43	60

(2) 林野火災

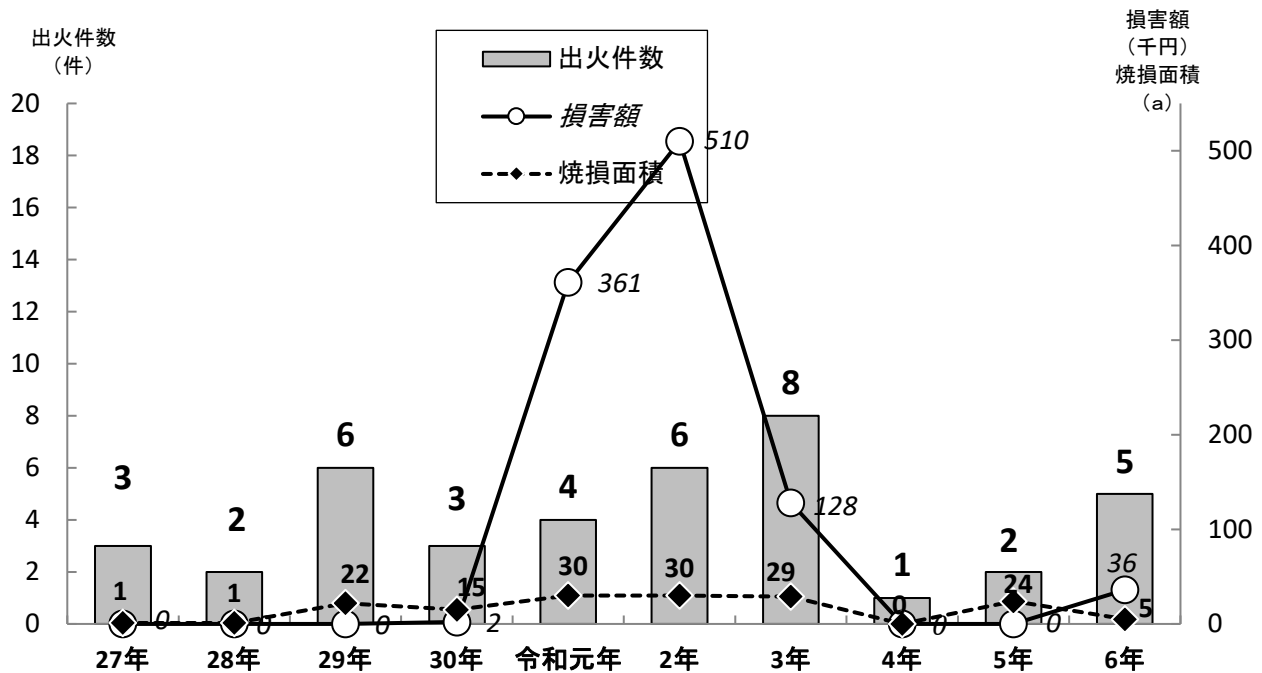
ア 発生状況

林野火災は5件で、前年に比べると3件増加している。

過去10年間の推移は第6-7図のとおりで、平均は出火件数4.0件、損害額103.7千円、焼損面積15.7aである。

※林野火災により類焼した損害（建物、車両、その他）を含む。建物火災、車両火災、その他の火災による類焼の林野損害を除く。

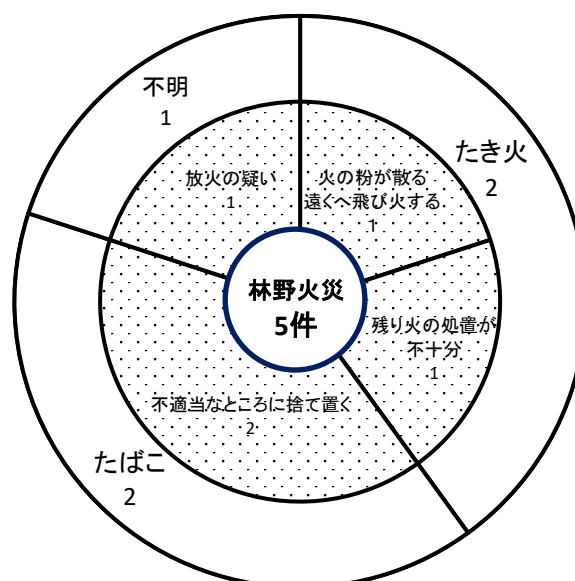
第6-7図 林野火災の推移（過去10年間）



イ 出火原因及び発火源・経過

林野火災の出火原因及び主な発火源・経過は第6-8図のとおりである。

第6-8図 林野火災の出火原因及び発火源・経過



ウ 出火箇所の状況

林野火災の出火箇所は、天然林3件、人工林1件、空地1件となっている。

(3) 車両火災

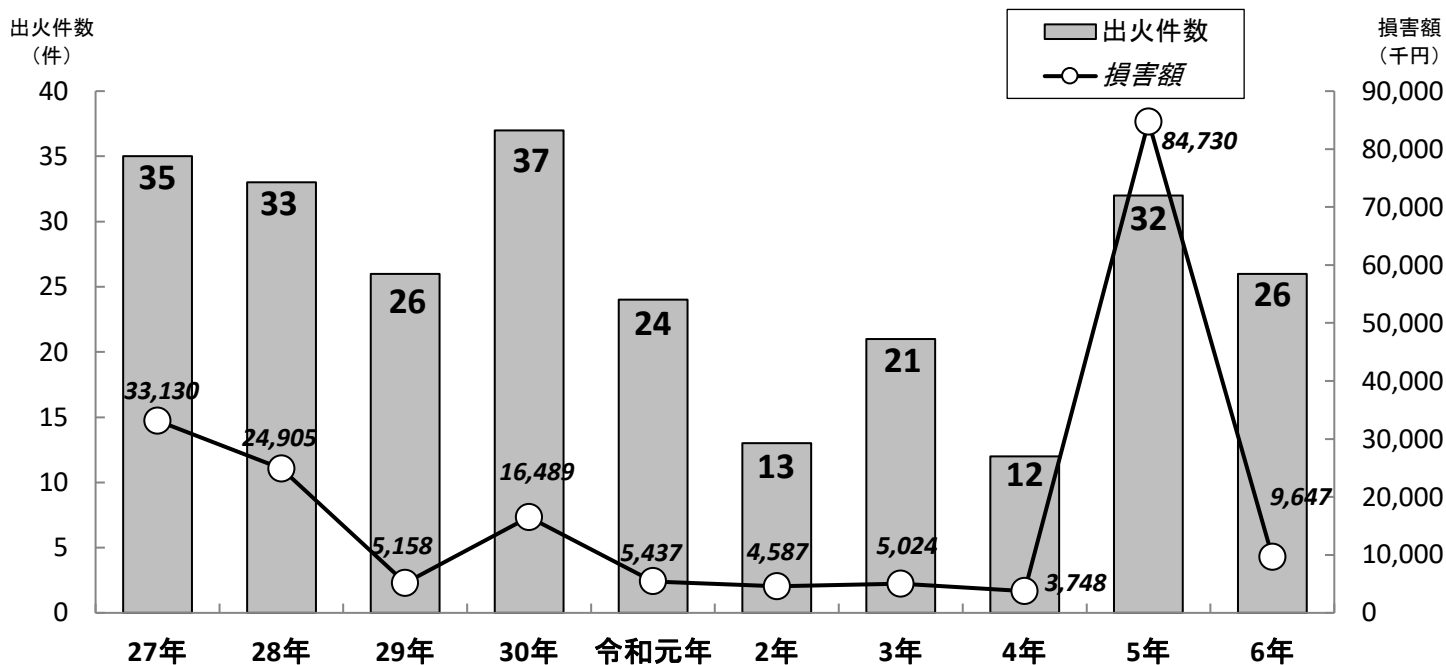
ア 発生状況

車両火災は26件で、前年に比べると6件減少している。

過去10年間の推移は第6-9図のとおりで、平均は出火件数25.9件、損害額19,286千円である。

※車両火災により類焼した損害（建物、林野、その他）を含む。建物火災、林野火災、その他の火災による類焼の車両損害を除く。

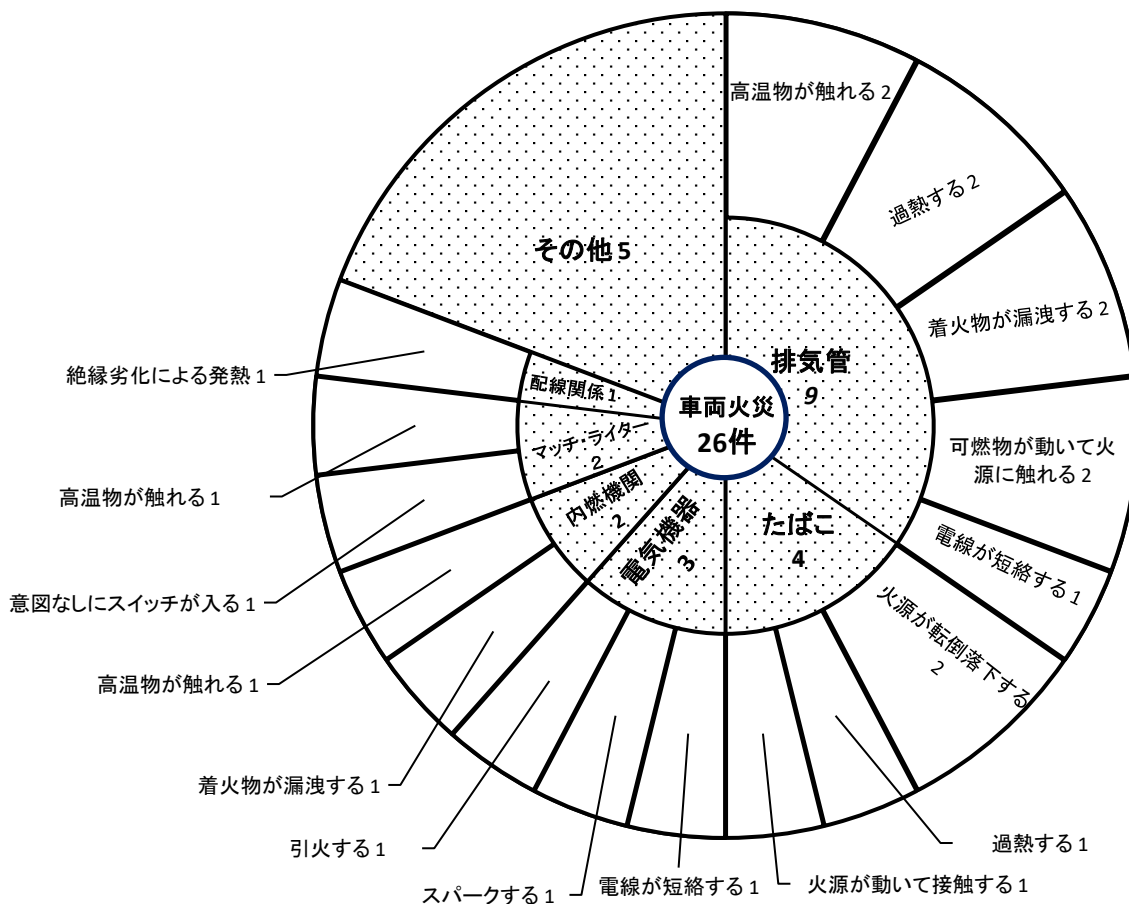
第6-9図 車両火災の推移（過去10年間）



イ 出火原因及び発火源・経過

車両火災の出火原因及び主な発火源・経過は第6-10図のとおりで、排気管が9件（34.6%）と最も多くなっている。

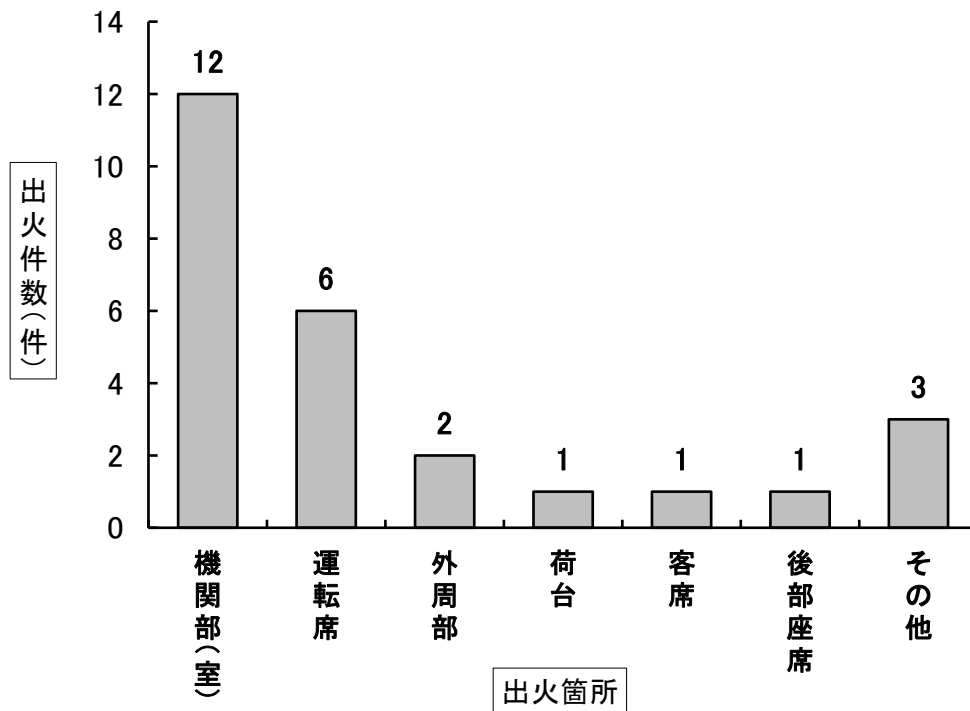
第6-10図 車両火災の出火原因及び発火源・経過



ウ 出火箇所の状況

車両火災の出火箇所は第6-11図のとおりで、機関部（室）が12件（46.2%）で最も多くなっている。

第6-11図 車両火災の出火箇所の状況

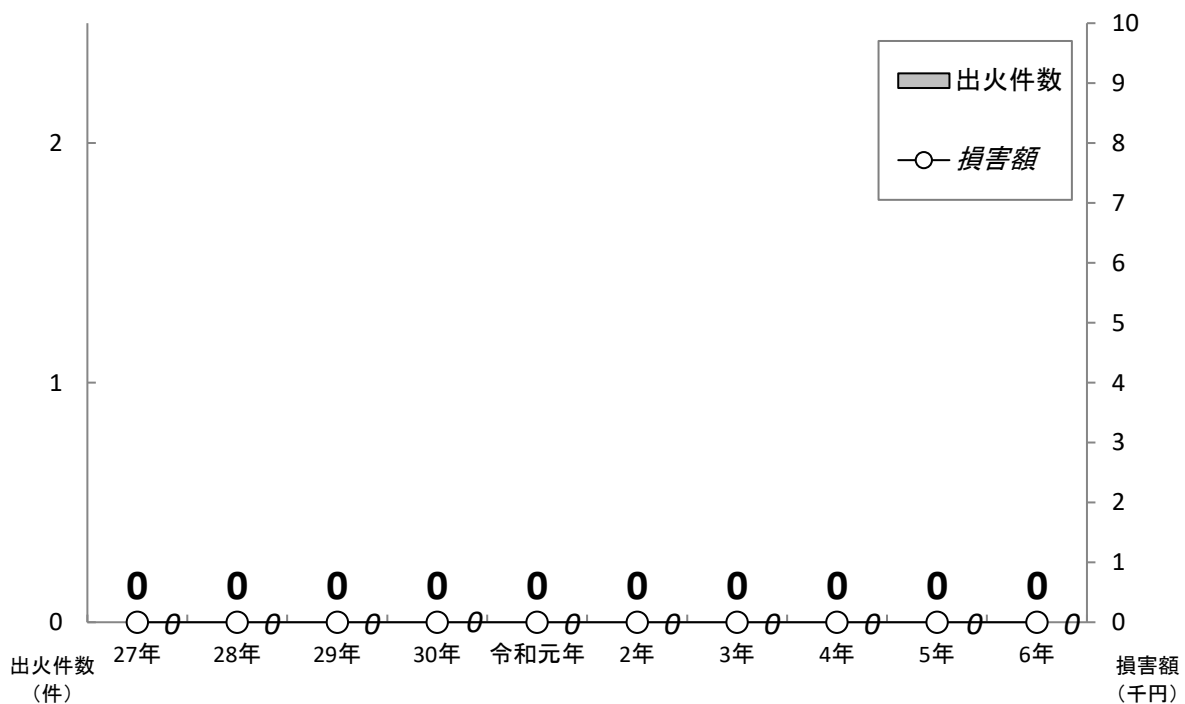


(4) 船舶火災

船舶火災は発生していない。

過去10年間の推移は第6-12図のとおりで、過去10年間船舶火災は発生していない。

第6-12図 船舶火災の推移（過去10年間）



(5) その他の火災

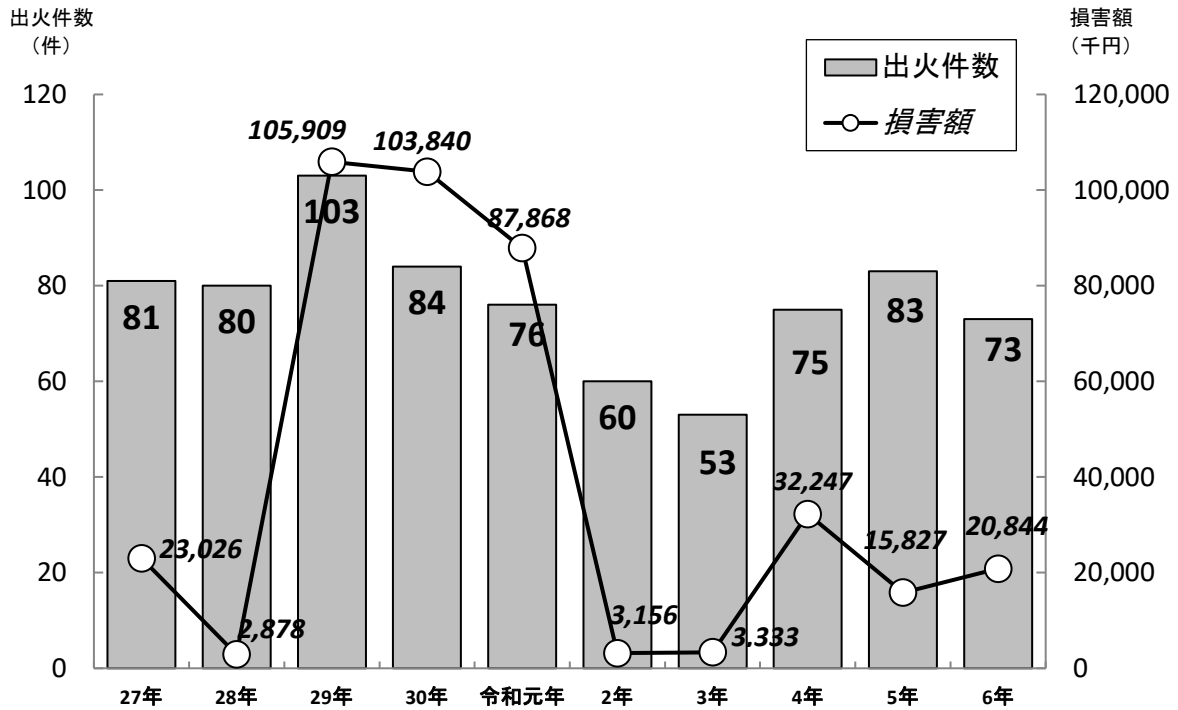
ア 発生状況

その他の火災は73件で、前年に比べると10件減少している。

過去10年間の推移は第6-13図のとおりで、平均は出火件数76.8件、損害額39,893千円である。

※その他の火災により類焼した損害（建物、林野、車両）を含む。建物火災、林野火災、車両火災による類焼のその他の損害を除く。

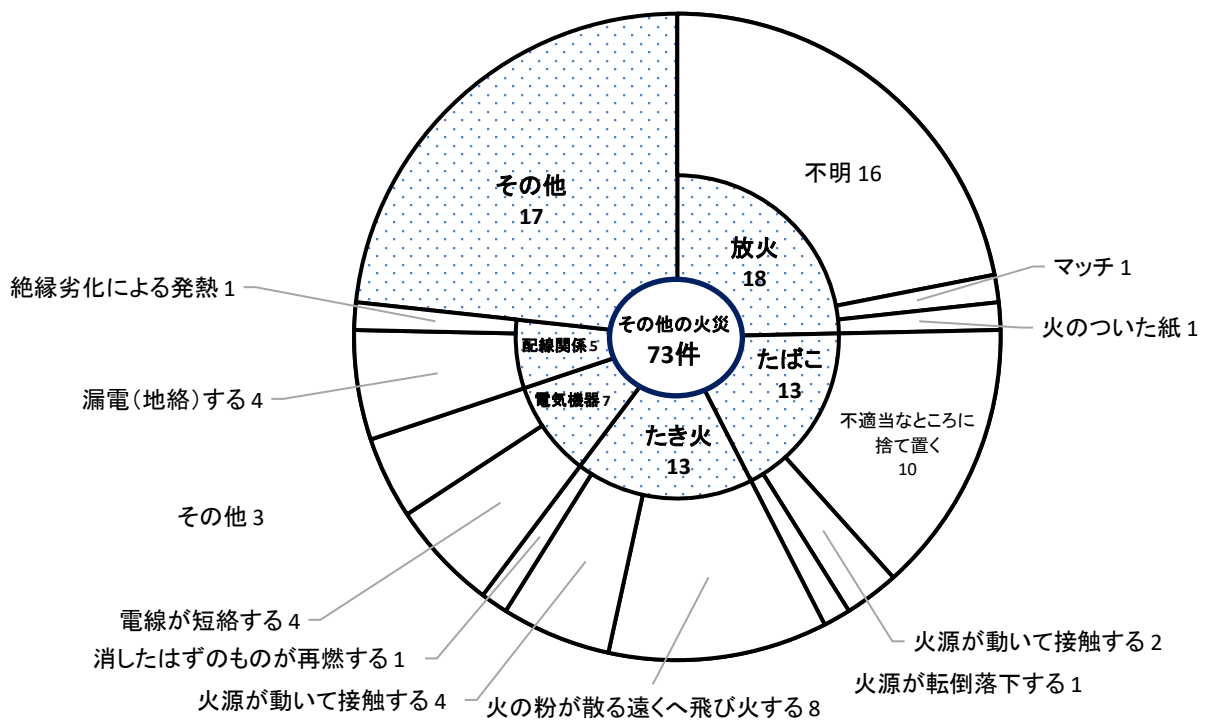
第6-13図 その他の火災の推移（過去10年間）



イ 出火原因及び発火源・経過

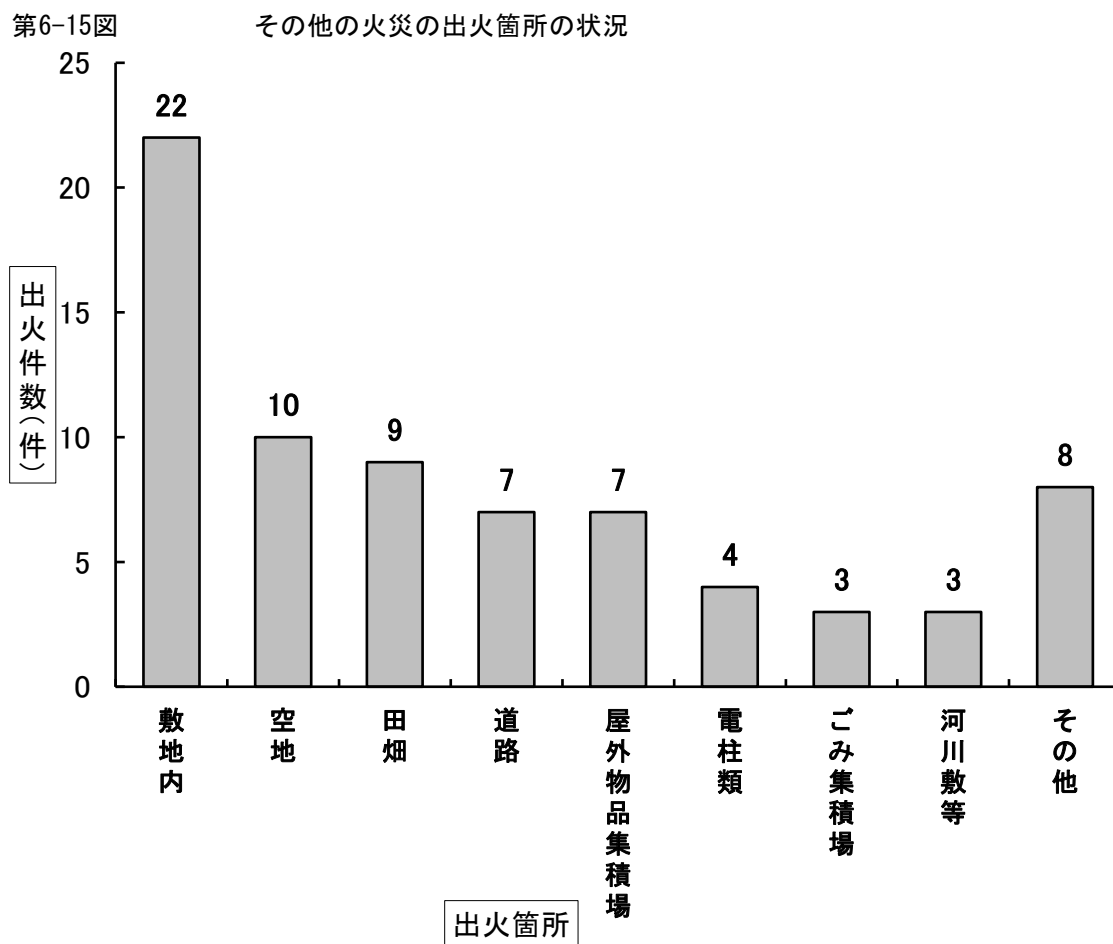
その他の火災の出火原因及び主な発火源・経過は第6-14図のとおりで、放火（疑い含む）が18件（24.7%）と最も多くなっている。

第6-14図 その他の火災の出火原因及び発火源・経過



ウ 出火箇所の状況

その他の火災の出火箇所は第6-15図のとおりで、敷地内が22件（30.1%）で最も多く、次いで空地が10件（13.7%）となっている。



7(1) 署所別火災発生状況

種別	火災件数														焼損棟数				り災世帯			死傷者		焼損面積			損害額 (千円)																					
	建物							建物以外							計	全	半	小	災	死	負	建物		林	合	建物			林	車	船	航	そ	爆														
	計	全	半	部	ぼ	延	計	林	車	船	航	そ	計	全								半	小			災	死	負							床	表	野	計	小	建	収	野	両	船	機	の	他	発
署別	計	焼	焼	焼	や	焼	野	両	船	機	他	計	全	半	小	災	死	負	積	面積	(a)	計	計	物	物	野	両	船	機	の	他	発																
累計	259	155	24	8	35	86	2	104	5	26		73	191	35	10	56	90	161	33	10	118	277	13	60	4,785	526	7	481,745	450,181	378,750	71,431	36	10,642			20,286	600											
中央署	計	71	48	1	1	9	37		23	1	3		19	53	1	1	14	37	31	4	4	23	48	2	13	429	55		36,239	35,266	30,736	4,530		185			188	600										
	本署	37	28	1	1	6	20		9		2		7	33	1	1	11	20	25	3	4	18	37	2	12	417	53		16,169	16,010	12,679	3,331		155			4											
	蘇我	16	11			1	10		5				5	11			1	10	2			2	2		1	1	1	1	1,135	999	6	993					136											
	宮崎	3	1				1		2				2	1				1	1				1	1				1	1		1																	
	生浜	7	4			1	3		3				3	4			1	3	1			1	3				1		779	133	51	82					46	600										
	臨港	8	4			1	3		4	1	1		2	4			1	3	2	1		1	5			11			18,155	18,123	18,000	123		30			2											
花見川署	計	48	32	10	1	9	11	1	16	1	4		11	49	18	1	17	13	35	14	1	20	58	3	7	2,726	353		211,066	197,725	149,750	47,975		4,637			8,704											
	本署	11	7	3		1	2	1	4		1		3	12	7		2	3	2			2	4		2	1,125	291		92,738	80,590	55,728	24,862		3,558			8,590											
	幕張	11	8	1		4	3		3	1	2		11	2		5	4	10	2	1	7	12	1	1	240	17		6,405	6,350	5,323	1,027		55															
	畑	9	7	1	1	3	2		2		1		1	7	1	1	3	2	9	6		3	12			201	7		5,257	5,237	4,765	472		20														
	作新台	17	10	5		1	4		7				7	19	8		7	4	14	6		8	30	2	4	1,160	38		106,666	105,548	83,934	21,614		1,004			114											
	稲計	25	17	6	1	2	8		8		5		3	19	6	1	3	9	43	8		35	64	2	8	619	42		58,499	57,289	53,254	4,035		1,108			102											
毛署	本署	21	13	6	1	1	5		8		5		3	15	6	1	2	6	40	8		32	57	2	6	619	11		58,239	57,029	53,054	3,975		1,108			102											
	西千葉	4	4			1	3		4				4			1	3	3				3	7		2		31		260	260	200	60																
若葉署	計	49	24	4	1	8	11		25	2	4		19	30	5	1	13	11	25	4	1	20	52	1	11	382	35	7	92,382	80,724	78,821	1,903		778			10,880											
	本署	7	4				4		3		1		2	4			4	2				2	8				1		137	8	4	4		126			3											
	桜木	9	6	1		3	2		3		1		2	6	1		3	2	8	2		6	12		6	70	9		7,450	7,445	7,104	341		5														
	大宮	7	2	2				5	1	1		3	7	3		4		5	2		3	12		3	198	9		53,553	53,019	52,419	600		534															
	都賀	11	6		1	2	3		5		1		4	6		1	2	3	6		1	5	11	1	1	81	14		13,798	13,698	13,467	231		100														
	泉	12	4	1		3		8	1				7	5	1		4		3			3	6		1	32	2	7	17,371	6,481	5,826	655		13			10,877											
殿台	3	2				2		1				1	2			2	1					1	3			1		73	73	1	72																	
緑署	計	34	15	3	3	3	5	1	19	1	8		10	21	5	5	5	6	16	3	3	10	32	3	8	577	40		57,596	55,028	52,495	2,533	36	2,503			29											
	本署	15	7		1	2	3	1	8		4		4	7	1	1	2	3	8	1	2	5	16	1	5	137	3		8,134	7,654	6,155	1,499		480														
	誉田	7	3		1	1	1		4	1	3		3		1	1	1	3			1	2	7	1		14	2		2,448	393	324	69	36	2,019														
	土気	5	2	1	1				3				3	4	2	2			1	1			1		2	122			2,916	2,916	2,888	28																
	越智	3	1	1					2				2	3	1	1	1									170			9,330	9,310	9,137	173					20											
	あすみが丘	4	2	1			1		2		1		1	4	1		1	2	4	1		3	8	1	1	134	35		34,768	34,755	33,991	764		4			9											
美浜署	計	32	19		1	4	14		13		2		11	19		1	4	14	11		1	10	23	2	13	52	1		25,963	24,149	13,694	10,455		1,431			383											
	本署	9	4			1	3		5				5	4			1	3	4			4	6		4	2			34								34											
	高浜	14	11		1	2	8		3				3	11		1	2	8	6		1	5	14	2	7	49	1		20,248	19,912	13,094	6,818					336											
打瀬	9	4			1	3		5		2		3	4			1	3	1			1	3		2	1			5,681	4,237	600	3,637		1,431			13												

7(4) 火災の推移状況

(昭和24年～令和6年)

年別	出火件数 (件)						人口 (万人)	出火率	損害状況					
	600	400	200	00	20	40			60	80	100	120	焼損棟数 (棟)	焼損床面積 (㎡)
昭和 24				33	12.5		2.6	52	3,488	26,745,312	1	0		
25				40	13.3		3.0	36	1,182	4,493,000	1	0		
26				44	13.4		3.3	57	3,405	244,772,000	0	3		
27				38	13.6		2.8	40	1,739	1,230,000	0	4		
28				41	15.1		2.7	36	779	2,291,000	0	5		
29				76	17.5		4.3	60	2,485	2,383,000	0	8		
30				85	19.7		4.3	61	2,991	14,558,000	1	8		
31			111		20.4		5.4	99	2,325	29,585,000	0	5		
32			112		21.4		5.2	100	2,569	48,310,000	2	15		
33			94		23.3		4.0	77	3,626	37,339,000	2	4		
34			88		24.4		3.6	79	2,954	40,287,000	1	11		
35			100		24.1		4.1	82	3,430	38,322,000	2	7		
36			129		25.6		5.0	50	7,641	13,812,000	4	9		
37			162		26.9		6.0	126	3,364	48,896,000	0	11		
38		222			29.5		7.5	129	8,823	122,604,000	2	21		
39		218			31.5		6.9	125	3,822	88,602,000	2	20		
40		262			33.2		7.9	128	4,652	97,331,000	4	26		
41		246			36.2		6.8	160	5,153	52,989,000	1	11		
42		288			38.5		7.5	200	6,370	79,974,000	1	27		
43		320			42.0		7.6	238	7,137	83,799,000	10	36		
44		340			46.7		7.3	210	5,151	166,799,000	5	24		
45		362			48.2		7.5	240	10,719	296,562,000	18	30		
46		389			51.6		7.5	276	15,420	1,753,563,000	5	102		
47		339			54.4		6.2	295	19,728	350,042,000	8	72		
48	478				58.4		8.2	332	8,942	415,958,000	12	49		
49		392			62.6		6.3	261	6,138	461,582,000	5	47		
50		377			65.9		5.7	242	6,060	763,049,000	10	45		
51		375			68.0		5.6	290	6,235	313,163,000	5	32		
52		346			70.1		4.9	253	6,120	460,435,000	12	37		
53		419			71.8		5.8	297	10,051	708,552,000	12	44		
54		458			73.6		6.2	320	9,217	1,117,560,000	21	45		
55		291			74.6		3.9	378	5,528	565,104,000	9	35		
56		362			75.5		4.8	292	5,422	422,409,000	5	28		
57		373			76.1		4.9	242	5,480	474,121,000	6	45		
58		324			77.2		4.2	221	5,273	653,827,000	8	30		
59		343			78.2		5.9	298	6,259	795,286,000	5	37		
60		333			79.0		4.2	293	5,932	584,805,000	6	48		
61		335			79.8		4.2	243	5,453	626,188,000	7	34		
62		293			80.6		3.6	231	3,715	450,175,000	7	34		
63		355			81.6		4.3	308	6,130	887,597,000	13	37		
平成 元		288			82.3		3.5	254	4,270	479,883,000	9	34		
2		370			82.8		4.5	264	4,144	497,788,000	6	37		
3		378			83.4		4.6	273	6,030	1,125,923,000	2	42		
4		364			84.3		4.3	285	4,951	650,045,000	11	37		
5		395			85.1		4.6	263	5,502	673,725,000	14	67		
6		405			85.4		4.7	329	7,802	852,364,000	13	44		
7		457			85.7		5.3	300	6,916	685,969,000	14	55		
8		403			86.0		4.7	268	6,974	813,388,000	7	50		
9		410			86.4		4.7	296	5,839	670,226,000	14	51		
10		329			87.2		3.8	274	5,092	464,328,000	15	51		
11		383			88.1		4.4	274	6,585	1,010,566,000	12	64		
12		369			88.9		4.2	226	4,692	552,004,000	14	50		
13		444			89.7		4.9	294	7,028	712,681,000	15	64		
14		418			90.5		4.6	265	4,654	584,758,000	12	63		
15		366			91.4		4.0	292	6,400	630,600,000	12	78		
16		385			91.9		4.2	307	7,368	684,865,000	15	62		
17		348			92.5		3.8	229	4,147	474,082,000	14	80		
18		323			93.1		3.5	223	4,015	496,228,000	6	68		
19		366			93.8		3.9	259	3,394	286,577,000	9	50		
20		310			94.9		3.3	228	5,348	381,556,000	2	71		
21		316			95.6		3.3	216	5,575	684,774,000	6	57		
22		317			96.3		3.3	224	5,468	418,089,000	12	38		
23		316			96.3		3.3	187	5,414	446,250,000	12	39		
24		295			96.3		3.1	197	3,694	401,041,000	13	40		
25		330			96.2		3.4	220	4,059	510,491,000	13	55		
26		300			96.3		3.1	206	3,156	381,765,000	5	78		
27		279			96.7		2.9	211	3,314	349,203,000	8	44		
28		265			97.3		2.7	182	1,857	225,781,000	7	39		
29		263			97.4		2.7	166	3,036	339,945,000	11	33		
30		261			97.5		2.7	164	2,237	363,240,000	2	48		
令和 元		258			97.8		2.6	219	4,005	363,247,000	9	20		
2		204			98.1		2.1	152	2,115	282,114,000	7	30		
3		225			97.6		2.3	177	2,606	376,634,000	6	36		
4		250			97.7		2.6	222	3,832	429,179,000	7	45		
5		262			98.8		2.7	190	3,116	437,350,000	8	43		
6		259			98.2		2.6	191	4,785	481,745,000	13	60		

火災統計

令和7年9月発行
編集発行 千葉市消防局予防部予防課
千葉市中央区長州1-2-1
電話 043-202-1663 FAX 043-202-1669
E-Mail yobo.FPP@city.chiba.lg.jp